



あんないっしょいっしょいっしょ

HOME PLANET

写真 5 写真 6

3/19 元力士舞の海さんが来町

1999年の引退までに技能賞を5回獲得するなど角界で活躍し、「平成の牛若丸」や「技のデパート(本店)」などの愛称で親しまれた舞の海<sup>しゅうへい</sup>さんが講演会のため本町を訪れました。

講演会は御荘文化センターで行われ、『可能性への挑戦』と題した講演で小兵ならではの苦労話や大相撲引退後の経験談などユニークなエピソードを披露し、会場の笑いを誘いました。

また、舞の海さんは講演会に先立ち南宇和高校相撲部を訪問しました。稽古場では、舞の海さんが選手に胸を貸す場面はありませんでしたが、時折、個別にアドバイスを送るなど1時間近く熱心に稽古を見学しました。

写真 4

4/15 交通ルールを守ってね

平成26年春の全国交通安全運動(実施期間 4/6～15)の一環で、船越小学校の新生4名と2年生5名が参加して、船越地区の旧西海有料道路沿いで交通茶屋が実施されました。

「愛南ぎょレンジャー」に扮した児童は、道ゆくドライバーに交通安全啓発物資を手渡し、「交通ルールを守って安全運転をお願いします」と笑顔で交通事故防止を呼びかけました。

本日!海日和!! vol.42 「ひごいのぼり」



海緋鯉

「屋根より高い鯉のぼり～」この時期になると、保育園や小学校でよく聞かれる歌だが、少子化のせいや住宅事情のせい、最近では鯉のぼりを見かけることも少なくなりました。

歌に出てくるマゴイやヒゴイは池や川に住んでいるが、ウミヒゴイという海に住んでいる魚がいる。鮮やかな黄色のラインと淡いピンク色が特徴である。成長するにつれて、ピンク色が濃い赤色へと変化し、ヒゴイに負けない美しさである。小さいときには群れで行動することが多く、この写真を撮影したときには、まるで鯉のぼりのように並んで泳いでいた。

コイという名前がついているが、コイの仲間ではなくヒメジの仲間である。魚屋ではイトヨリダイの名前で売られていることがある。白身の上品な味で、煮付けにするとおいしい。

大空を泳ぐ鯉のぼりは絶滅危惧種になってしまったが、ウミヒゴイには、いつまでもおもしろそうに大海原を泳いでいてほしいものである。

(撮影地: 瀬ノ浜)

愛南サンゴを守る会 西尾知照<sup>ともてる</sup>



写真 1  
2/ 19~ 愛南町で  
スポーツ合宿

愛南町では、宇和島市と共同でスポーツ施設や文化施設の利活用をめざした「合宿誘致事業」を実施しています。南レク城辺球場では、2月19日から始まった同志社大学硬式野球部の合宿を皮切りに、摂南大学硬式野球部、関西学院大学体育会硬式野球部、同志社大学軟式野球部が合宿を行いました。

恒例となった表敬訪問では、清水雅文町長が球場に足を運んで選手を激励し、愛南町の特産品を贈呈しました。

写真 2  
3/ 16 げんき市でまちを  
元気に

歩行者天国となった城辺商店街で、まちの元気を集める楽しいスポットを作ろうと、町ボランティア連絡会（森岡真由美会長）主催による「第10回げんき市」が行われました。

当日は春らしい陽気に恵まれ、町内の小・中・高校生ボランティアの協力もあり、リヤカー市などのバザーやオープンカフェ、ストリートダンスなど盛りだくさんのイベントで賑わいました。

写真 3  
3/ 16 南光  
フェスティバル 2014

御荘文化センターで「南光フェスティバル 2014」が開催され、美術部・書道部による作品展と吹奏楽部による第28回定期演奏会が行われました。

『十人十色～色とりどりの文化の形～』と銘打って行われた今年のフェスティバルには約400名が訪れ、華やかで迫力ある演奏と高校生らしい感性豊かな美術・書道作品を楽しみました。